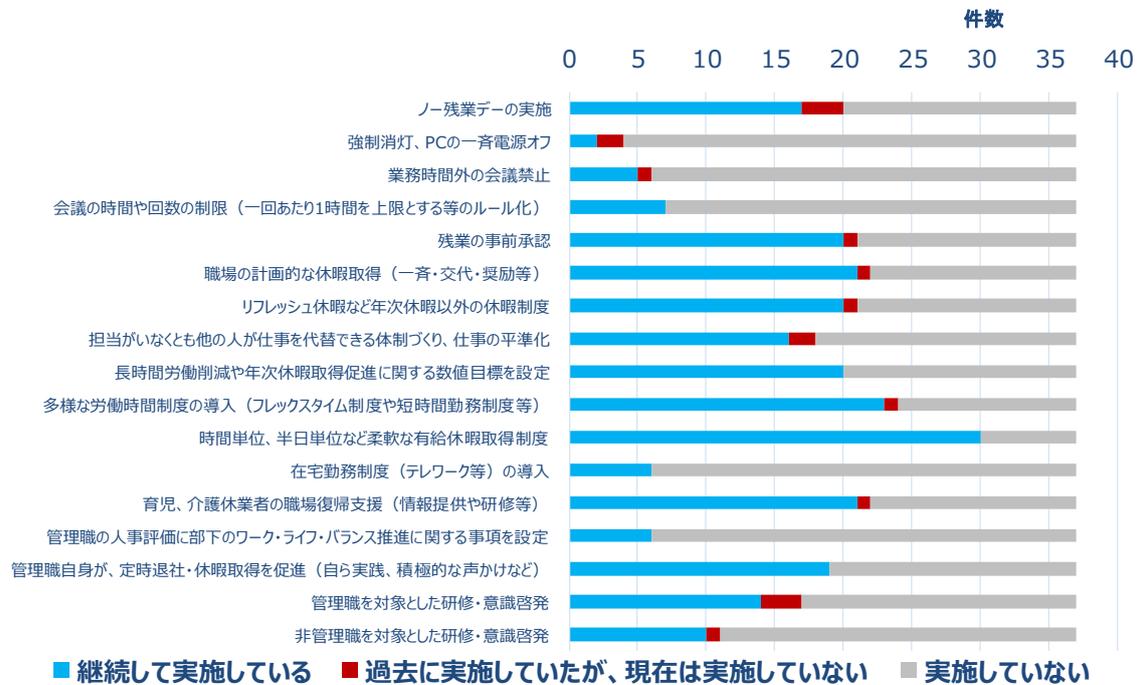


金沢イクボス企業同盟 加盟企業アンケート結果

調査概要

- I.調査対象：金沢イクボス企業同盟加盟企業（80社）
- II.調査期間：2017年6月21日～2017年7月7日
- III.調査方法：WEBフォームまたはEメール及びFAXによる回収
- IV.有効回答：37社（回答率：46.3%）

問1 ワーク・ライフ・バランスの実現のために「実施したことのある取組」と、「その中で現在も継続している取組」について



【その他意見】

- 業務の簡素化・システム化
- 社内決裁業務のシステム化
- 社内提出資料のフォーマット化・システム化
- 決済ルートの簡素化
- 責任者分担による問題解決
- SNS 情報共有
- 長時間勤務になっている部署の体系（仕事のやり方）の見直し

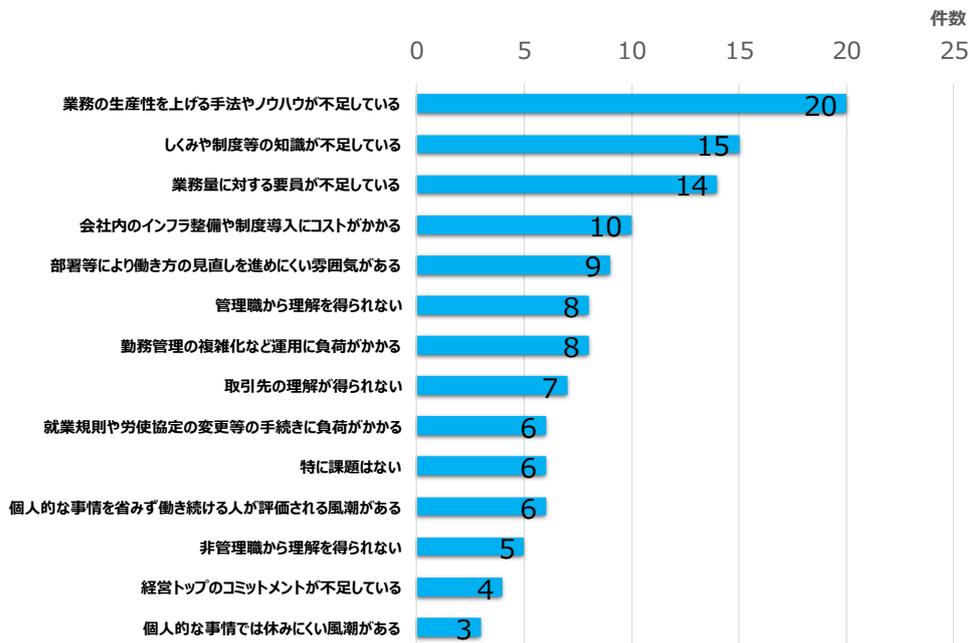
問2 特に効果のあった具体的な取組内容と成果

取組み内容	成果	業種
生産性向上のための生産工程等の見直し	残業時間が減った	製造業
① 残業の事前承認 ② 仕事の平準化 ③ 柔軟な有給休暇制度	① 残業の見える化により管理しやすくなった（設計など事務部門）。 ② 急なお休みや育児休業などにも対応できる。多能化が進んだ。 ③ 休暇が利用しやすくなった	製造業
① 勤怠管理を小単位に ② 育児、介護休業者の職場復帰支援	① 残業時間の減少 ② 継続した人材確保	金融業・保険業
休暇取得者の取得状況を一覧表で掲示	有給取得が増えた	建設業
育児休業復帰後の短時間勤務制度	出産後もほとんどのスタッフが職場復帰を実現 制度対象を小学校入学前まで拡大	サービス業

問3 うまくいかなかった事例があればその具体的な取組内容と原因

うまくいかなかった内容	原因	業種
従業員の意識改革	うまくリーダーシップを発揮できず、社内の風土が改善しなかった	製造業
ノー残業デー	部門間での負荷のアンバランス、仕事の進め方などの違いにより徹底できなかった	製造業
強制消灯（昼間、夕刻）	形骸化している。	建設業
年次有給休暇以外の休暇制度	周知不足、年次有給休暇の取得率が低く、有休残を持って余す人が多く、特別休暇の取得に至らない	情報通信業

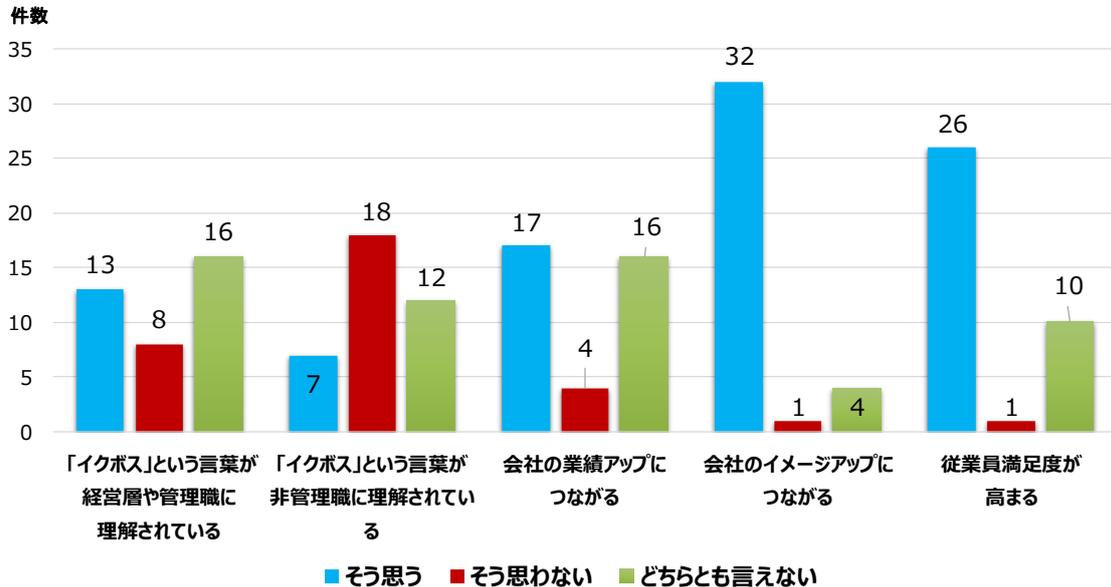
問4-1 働き方の見直しを進める上での、貴社の課題をお答えください。



問4-2 上記の課題のうち、最も大きな課題を一つだけお答えください。



問5 貴社における「イクボス」に関する取組みについて担当者が感じていることをお答えください。



問6 イクボス企業同盟主催のセミナーにおいて、希望するテーマや内容（抜粋）

意見

- 先進企業の取組事例を聞きたい
- 従業員の自発性向上などの意識改革
- 雇用形態（出向者・プロパー社員・契約社員・パート+個人事業主 e t c）が混在している小さな（社員数 50 名程度）組織での取り組み事例
- 抱えている課題が似ている会社ごとに討論を行う
- 取り組みが進んでいない企業についてディスカッションをしたい
（問題点の共有、アイデア出しなど）・・・抵抗される企業もあると思いますが・・・
- イクボス企業同盟として、目指すものの共有
- 経営陣のためのコーチング手法

問7 イクボス企業同盟に関する意見や要望（抜粋）

意見

- 企業同盟どうしの懇親の場がほしい
- 先進企業の取組事例を聞きたい
- 学生への P R
- もっと広くアピールしてほしい

- 経営者を巻き込むような活動にしたい。
- 金沢市民にもっと発信をして欲しい
- イクボスという名称はカタカナ省略語の悪い例だと思う。一般には周知されていないし何を目指すのかがわかりにくい名称なので、同盟参加企業が本音でどうお考えなのか、本当に企業イメージの向上や社員採用に役立つと考えているのかを聞きたい。

以 上